

公益社団法人宇都宮青年会議所  
2015年度 第3回 理事予定者会議議事録

日 時：2014年 11月 18日（火）19：00～22：00

場 所：コンセーレ 小ホール

出席者：

- ( 理 事 長 ) : 須山 (敬称省略 以下同)  
( 直 前 理 事 長 ) : 村上  
( 副 理 事 長 ) : 澤畑、福田(之)、太城  
( 専 務 理 事 ) : 金  
( 監 事 ) : 黒川  
( 担 当 常 任 理 事 ) : 羽石、飯野、鈴木  
( 日 本 J C 委 員 会 特 別 委 員 長 ) :  
( 会 員 拡 大 特 別 委 員 会 ) : 小瀧  
( 法 令 会 計 審 査 局 局 長 ) : 豊崎  
( 事 務 局 局 長 ) : 飯沼  
( 委 員 長 ) : 辻、渋谷、篠原、増淵、宮林、福田(弘)、山田、  
木村、飯塚  
( 局 次 長、副 委 員 長 ) : 間島、金田、柿沼、相田、八木、菊地、中嶋、板林、  
佐藤、林  
( 準 理 事 会 構 成 員 ) : 赤井、齋藤、加賀田、亀井

1. 開会宣言 <金>(役職名省略 以下同)  
2. J C I クリード唱和 <間島>  
3. J C I ミッション並びに J C I ビジョン唱和 <相田>  
4. J C 宣言文朗読並びに綱領唱和 <中嶋>  
5. 関東地区宣言唱和 <飯塚>  
6. 出席者の確認 <飯沼>  
7. 議事録作人並びに議事録署名人の指名 議事録 <総務委員会>  
議事録署名人  
須山 裕史  
黒川 崇  
8. 前回議事録の確認 <金>

## 9. 議題並びに資料の確認

<飯沼>

## 10. 2015年度理事長挨拶

<須山>

まずは会議の設営にあたりまして総務委員会の皆様、渉外委員会の皆様、当たり前のようにこのように会議ができることを感謝申し上げます。いつもありがとうございます。そして今日、目立っているなどと思いますのはやはり、遅刻者、欠席者が多いと思っております。まずは厳しい話から申しますと、来ている方には申しわけないなど出席の確認を聞いていて思いました。ラインの方でどのような報告を受けているのか、仕事だから、家庭があるとか色々な理由があるとは思いますが、それぞれ皆さんここにいる皆さんは調整をつけて19時というところに間に合わせて来ているわけであります。どうにもならない用事ももちろんあるかもしれません。私にももしかしたら葬式だとか何か用事があるかもしれませんけれど、来なければいけない貴重な理事会だと思っておりますので心構えというものをもう一度ラインの方で考えていただきたいと思ひますし、やはり呼びかける側、これは事務局側になるとは思いますが、そこをなんとか19時まで間に合わせるような呼びかけのコミュニケーションというものが非常に重要ではないのかと感じました。もう一点がセレモニーです。自信が無いのだと思うのですが、紙をみながらとか、手帳をみながらとか、パソコンを触りながらとか、じゃあこれはいつまで皆さん続けていくのかというのを感じました。同じように委員会でやって、うちの委員長、副委員長はだらしないなど、紙をみながらやっているのだなど。じゃあ、俺もあれでいいのかなというふうになってしまうと思ひますので、何がしたいのかと申しますと、覚える努力はしてますか。毎回理事会に来て同じこと、たとえば月に一回の理事会、例会で1回、セレモニーやりますけれど、2回では到底覚えられないんです。やはり、毎日朝晩眺めるとか、口に出してみるとか、YouTube もありますし、いろいろ覚える方法というのはあるのだと思ひます。その努力をしなければ絶対覚えられないと思ひます。やはり、理事になられたここにいる理事会構成メンバーに関しましては、委員会メンバーの見本となってもらいたいと思ひわけであります。この前、グループの顔合わせに行かせてもらいましたが、どこのグループに行ってもやはり新しいメンバーで2015年度をやっていこうという気合いがすごく伝わってきました。そこを引っ張っていくのは委員長と副委員長、そして常任、副理事長だと思ひますので、やはりセレモニーに関しましては堂々とやって頂きたいと思ひます。今年、関東地区の運営専務としていろいろ回らせていただきましたが、やはり、セレモニーに元気があるLOMというものは勢いがあります。ですから、このままボソボソとセレモニーを続けていくと、やはり、宇都宮の元気というか、勢いが無くなってしまふと思ひますので、元気よく澁刺とやっていただきたいと思ひますので、そこは是非とも来月の12月の理事予定者会議までには、完璧に覚えろとはいいません。本当は完璧に覚えていただきたいと思ひますけれど、是非ともまずは努力をしていただきたいです。いろいろ項目は4つぐらいありますが、まずは3つ覚えていくとか、一歩を踏み出すということが重要だと思ひますので、そこは是非ともチャレンジしていただきたいと思ひます。ひと月の間でいろいろと会議の方が進んでいますので、その報告をさせていただきますと思ひます。まずは11月10日に日本JC主催の地区出向者説明会というものに行つて参りました。中島議長をはじめとする日本再興会議、そして安野副議長、日本JC全国大会運営会議に出向なされていますけれど、他の出向メンバーを引き連れて本当に堂々とやっていました。本当に誇らしく思ひましたし、宇都宮JCとして皆さんで支えていかなければいけないとすごく感じました。その中で、会頭のお話の中にあつたのは、どこの地区を周っていても拡大の話が出るんです。まあ、関東地区は8000名という話をしていましたけれど、1万人をなんとか復活させるプロジェクトを組んでいる話をしています。

した。1万人にする、関東地区はその礎になると関東地区宣言でいっていますけれどもやはり、関東地区がどんどん人が減ってしまつては、日本全体の、日本JC全体の元気が無くなるというお話をしていましたので、私たちも関東地区協議会の一員として、栃木ブロックの一員として、またこの宇都宮JCの未来を明るくするために一人でも拡大をしていかなくてはいけないと思います。で、拡大の話になりますが、今、話を聞いていてもあっそうかな、くらいで思っていると思いますけれど、実際に行動に移さなければ意味が無いのだと思うのです。拡大特別委員会の顔合わせにも行かせていただきましたけれど、今年は本当に皆さんと連携を密に取ってたくさんの情報を持って、一人でも多くのビジター、入会希望者、入会予定者というものを増やしていきたいという話をしていました。拡大委員会だけで30名必達ということで小瀧特別委員長からはいただいておりますけれど、自分はいいや、関係ないやと思わずに是非、耳を傾けてください。全員で宇都宮JCは150名近くいますけれど、150名の力を生かして拡大を進めていかなければいけないと思っています。私も先日、金専務と入会希望者の方と食事をしながらJCの話をしてきました。やはり一步一步だと思えます。澤畑副理事長ともよく話をしますが、秘策ってないと思いますし、泥臭く一人ずつ集めていくしかないと思いますので、本当皆さん拡大に対する意識はどれくらいあるか、行動に移していただきたいと思えますので、今自分の中で思っているあの人どうかなというのがありましたら、声をかけるというまず一歩が重要だと思いますので、是非ともご協力いただきたいと思えますし、是非とも宇都宮JCをどんどん盛り上げていただきたいと思えます。順番が前後しましたが、11月10日の次の日、小田原の地で役員会、関東地区協議会の役員会がありました。今年は関東地区協議会の会長として山本和紀君を排出しておりましたが、直前会長として、宇都宮JCには籍はありませんけれど、山本先輩、そして篠崎達彦君が監査担当役員でお世話になるということでご挨拶に行つて参りました。私もずっと携わらせて参りましたが、一年経つと視点も変わって、見方も変わると思えますし、新しい2015年度の関東地区の運動というものが昇華していくことを期待したいとすごく感じました。もう一点だけ話をさせてもらいますと、11月14日に日本再興会議ということでグループの顔合わせ、スタッフ会議がこの宇都宮の地で行われまして、中島議長筆頭にVC5人勢揃いをして、宇都宮の地で会議をしてその後の懇親会、二次会等満喫をしていました。皆さんもどんどん会議が進んでいると思えます。しっかりと2014年度の間に準備を進めてもらって、2015年度が華々しいスタートを切ってもらいたいと思っています。繰り返しになりますが、セレモニーはまず覚えましょう。是非とも拡大についてはフォローしていただいて、自分自身が当事者となって動いていただきたいと思えます。本日は協議案件がいろいろとあります。そして今日第1回の全国大会召致会議の方も実施致します。全国大会についてはそこで話をしたいと思えますし、本日は村上理事長にもいらっしやっただいておりますので、同じようにお話をいただきたいと思っています。有意義な会議が進められると思えますので、どうぞよろしくお願い致します。

#### 11. 2014年度理事長挨拶

<村上>

まずは、2014年度の会期期間中でありながらも2015年度の理事会を開催しているということで、来年に向けて準備をしていただいている皆様に感謝、敬意を表したいと思えます。けれど、久しぶりに2015年度の会議に参加をさせていただきましたけれど、がっかりしたというのが1番まず最初にあります。先ほど、須山理事長もお話をしていましたけれどセレモニーです。100%完璧に覚えているという人は手をあげてください。1人もいないの。困ったものですね。でも、ほとんどいえている人も半分くらいはもちろんです。今

年理事の人とか当然いえるはずなのですが、来年のスローガンは『真摯に挑戦』です。真摯に挑戦の真摯とは真面目に、熱心にといい意味です。来年のスローガンが真摯に挑戦であるならば、皆さん来年に向けて準備をしている中で、真摯に挑戦しているのですか。会員配属会議がもう終わりました。皆さんがお預かりする委員会のメンバーというのは決まったわけでありまして。各種セミナー、議案上程セミナーだったり財政コンプライアンスセミナーだったり、終わっています。そのセミナーのリハーサルに実は私、立ちあいましたけど、実は審査をする豊崎局長でしたり、メンバーがリハーサルで本当に真摯に挑戦している姿をみてちょっと嬉しかったです。けれど、もっともっと、挑戦でどこまでやればいいのかという限界を作ってはいけないと思います。逆にどこまで出来るか、だと思ふのです。皆さん仕事でもそうじゃないですか。売り上げを上げるため、会社をよくするため、社員を教育するため、その会社を、仕事をとおして社会に必要とされる会社になるために皆さんは頑張っているわけですね。家庭についても一緒です。お子さん、奥さん、もっともっと幸せにしてあげようと皆さん努力をしているわけですね。ここまですればいいというゴールは多分作ってないと思います。もちろん単年度の売り上げ目標のある会社もあると思いますけれど、であるならば、せつかく JC でこういう機会をいただいている、是非、真摯に挑戦をもっともっとしていただきたいなと思います。そして前回、この会議に出席をさせていただいた時にメモを取りましょうという話を皆さん覚えていますよね。今日、理事長の挨拶の時にメモを取っていた人は何人いるのか、半分ぐらいいる。言われてもやらない、変わらない。大丈夫ですか。やる気ありますか。皆さんは理事会の構成メンバーとしてそれぞれ委員会のメンバーに理事長の言葉を代表してお伝えなくてはならない立場であります。メンバーを預かるのです。是非、しっかりと一つ一つ、伝えるためにどうすればいいか、自らもっともっと考えて挑戦をしていただきたいなと思います。山本顧問が第 1 回理事予定者会議に来られてリンカーンの話をしていました。覚えている人いますか。木を 1 本切る時間を 8 時間与えられたのであれば、私は 6 時間を、斧を研ぐ時間に使うという話でした。準備がどれだけ大切かという話ですけど、これも予定者としてやっておかないといけないことなのです。その話も覚えている人が 2 人っていうのは非常に悲しいです。もしかしたら覚えていてもあまり自信がなくて手を上げられなかった人もいるとは思いますが、是非、もう 1 度、来年の理事になるという責任、自覚、気合いをもう 1 回持ち直していただいて、まだ後 1 ヶ月半ありますので、先ほど須山理事長もおっしゃっていましたが、次の会議ではセレモニーがしっかりいえるように。覚える努力をしていますか。と聞いてました。是非、努力をしてください。私にしても、もちろん須山理事長にしても若い頃に必死に覚えたのです。もちろん入会 1 年目に本当は覚えなれないことなのです。必死に覚えたんです。何日も何日もというレベルではないです、僕は 2 週間ぐらい頑張りました。車を運転しながら暗記をして、いって来て、止まったところを見直しながら覚え直しました。是非、覚える努力をしていただきたいなと思います。そして、今日宇都宮の地元のニュースで気になった事がありました。先日、犬が大量に捨てられてた事件の犯人が今日逮捕になりました。実は、これは理事長としてはいいんですけど、今日ひとりの愛犬家として下野新聞の取材を受けたんです。これはいかにペットショップというのがいろんな問題を抱えているか、それがひとつの形となって今回の不法投棄にというところで繋がって表に出てきたわけでありまして。犬を飼っているひとりの市民として取材を受けたのです。その中で下野新聞の記者の人と話していると、実はこういう話は氷山の一角で、売れ残った犬というのが、実際どういう経緯、どういふような道を、人生を辿っているのかという話を聞きました。売れ残った犬というのは、引き継ぎ業者というのがいて、またその引き継ぎ業者から、別に繁殖業者に売られていくそうなんです。繁殖用の犬としてどんどん使われていく、その最後の現場に先週取材に行ったそうなんですけれど、本当に使われすぎて生きてるか死んでいるかわからない状態で横たわって

いるのが無数にいたと。僕ら当たり前のように犬を飼っているひとは多いと思いますけれど、ビジネスとしてペット業界は非常に盛んかもしれませんが、一方で影の部分というのも非常にたくさんある。この業界だけに留まらず、いろんな業界にもあると思います。僕らもこの地域をよりよくしていく団体でありますので、そういったもっと深い部分です。皆さん担当される委員会がそれぞれあると思います。担いがあります。やはり街の課題だったりみえないところまでしっかりと深堀りをしていって、須山理事長が掲げている所信に元づいた運動を是非、根本の部分から運動に昇華させていっていただきたいと思ったわけがあります。そしてもう一点、ニュースによりますと今日衆議院が解散をされる見通しということであります。もちろん私も安倍首相の話を、今まだ聞いておりませんので何ともいえないところはありますが、大きな転機に向かっていくために国民の真意を問うために解散に踏み切るわけであります。もちろん、宇都宮も大きな転機を迎えていると思います。先日、須山理事長はじめ次年度の正副の皆さんと宇都宮市長にご挨拶をさせていただいたときにも、今丁度、宇都宮も生まれ変わろうとしている。もっともっと住みやすい街にするため、LRTもそうです。ネットワーク型コンパクトシティを具体的に進めていくさまざまな仕掛けをとというのが目にみえて、この数年間動いていくこととなります。そして、須山理事長の所信の中にも大きな夢を抱いてというフレーズがあります。そして青年としてしっかりと運動を推進していく。150人からいるメンバーの皆さんはリーダーであります。是非、2015年度、このJCをとおして大きな夢を掲げて、そして宇都宮をよりよい街にできるように力を合わせていっていただきたいと思います。それでは今日の理事予定者会議どうぞよろしく願いいたします。

## 12. 役員報告

<金> 報告案件お持ちの方、挙手にてお願いします。

<須山> 村上理事長からお話ありましたが、解散絡みの話で2014年度の話になりますけれど、公開討論会を実施する予定であります。予定日が11月の27日か、28日で、会場の都合もあり、候補者の都合もありということで、確定してはいないけれど、告知前にやりたいということです。告知してしまうと、またちょっと意味合いが違ってしまいますので、予定をしております。何をいいたいかと申しますと多くの動員をお願いしたいと思っておりますし、この国政選挙を、未来を占う選挙だと思いますし市民のためになる公開討論会を実施いたしますので、案内を流した際には、是非ともご参加いただければと思います。よろしく願いいたします。

<金> ありがとうございます。その他、役員報告、報告ある方いらっしゃいますでしょうか。  
なきようですので、続きまして13番項、協議事項に移りたいと思います。

## 13. 協議事項

<金> 緊急かつ、重要な案件をお持ちの方はいらっしゃいますでしょうか。

<豊崎> ありがとうございます。法令会計審査局より一点。その他の事項といたしまして、協議上程させていただきたいと思います。全国大会召致推進委員会さんが来年7月に予定しております対話集会事業の方ですけど、こちら県との調整の結果、公益事業として認められました。これに付随しまして関連書類の記載変更について上程の方をさせていただきたいと思います。案件につきましては3つ。

2015年度県提出事業計画書（案）変更について

2015年度総会例会（案）の変更について

2015年度収支予算計画（案）の変更について

こちらの方を上程させていただきたいと思います。今回、本日の2015年度理事会、明日の2014年度の理事会で確認をとって20日の総会で差し替えを予定することも考えましたが、今回メンバーの協力も総会資料の送付とかも済んでますので、内容が大きく変更してしまってることもございますので、理事会構成メンバーの方に確認を取る必要があると考えましたので、本日上程の方させていただきました。以上になります。後ほどお願いします。

<金> ありがとうございます。

では、協議事項5番に2015年度県提出事業計画書（案）変更について、6番項に2015年度総会例会事業（案）変更について、7番項2015年度収支予算計画（案）変更について、を追記させていただきます。

その他、緊急かつ重要な案件をお持ちの方いらっしゃいますでしょうか。なきようですので、先ほど追記した7番項までとさせていただきます。

協-01 2015年度 1月新春例会開催計画並びに予算（案）について

<渋江> 渉外委員会委員長予定者の渋江でございます。宜しく申し上げます。それでは1月新春例会開催計画並びに予算（案）について上程させていただきます。2クール目となりますので、変更点のみ申し上げさせていただきます。実施日時ですが、前回1月8日木曜日させていただいたんですが、1月19日月曜日に変更させていただいております。変更の理由といたしましては、日本役委員会のクールと重複しておりまして日本の役員の皆様が、新春交流会に参加できないという状況がございました。全国大会も見据えた宇都宮JCといたしまして、是非とも多くの出席をいただきたいと思ひまして、変更の方をさせていただきました。それに伴いまして来訪JCを20名から30名と変更し、参加会員数は合計130名となります。続きまして、受付の配置図の方を見直させていただきました。顔のわかるメンバーを配置いたしまして、円滑な受付ができるよう検討させていただきました。また、遅参者対応図を作成いたしました。その他、シニアの途中退場者のプレート回収担当を配置いたしまして、持ち帰り防止等、検討させていただきました。また、交流時に配布するパンフレットの内容の方を精査させていただきました。また、メンバー向けのアンケートの方も追加させていただいております。最後に交流会のスムーズな進行を考慮いたしまして、1月6日19時よりベルヴィ宇都宮で事前にシミュレーションの方を行う予定でございます。事前に問題点や注意点、特に受付の中でのお金の受け渡しであったり、必ずイレギュラーが起きると思いますので、そこら辺を事前に想定しながら確認をして、スムー

ズな運営を心がけて参りたいと思います。その時に、各委員会の皆様にもご賛同いただいてシミュレーションを一緒にしていただければと思います。以上、慎重なご協議のほどお願いします。

<金> ありがとうございます。  
アジェンダをみていただければ協議事項2番項に、先月と同様に告知計画の議案もございます。審議対象資料のリストにつきましては、次の議案で揉みたいと思いますのでリスト以外の部分でご意見、ご質問等がありましたら宜しくお願いします。

<木村> 渋江委員長お疲れ様です。前回の理事会からいろいろ変更点あって、すごくいい議案になっていると思いますが、議案書は関係なく遠方から来るJCの方々とかで宿泊する方を早めに把握して、この後の懇親会があると思いますが、理事長が挨拶を周りやすく、お店とかを近場で押さえるとかをやっていただいた方がいいのではという意見です。

<金> ご意見ありがとうございます。  
その他いかがでしょうか。

<柿沼> 気になる点ですが、教えていただきたいのが交流のしおりの件です。これは結局聞いて後で提出するののかという点と、参考事項の方なので聞かない場合もあると思うのですが、来年設立50周年の節目を迎えるにあたりこれからのJC運動をどのように展開していくべきかを伝えるという点、これは個人の見解を伝えていいべきなのか、宇都宮としての意見が用意されているのかお聞かせいただければと思います。

<渋江> 柿沼委員長ありがとうございます。まず1点目でございますが、交流のしおりの必須事項といたしまして、こちら基本的に宇都宮JCの運動を通して事業内容についてご理解いただけましたか。というところで、交流をする中でお客様にこの内容は必ず聞いていただきたいです。今回の議案の対外目的が2015年度の周知ですので、こちらは必須で聞いていただきたいと思います。続きまして、参考事項の50周年の節目を迎えるにあたりですが、こちらは持ち帰りまして再度検討させていただきたいと思います。

<柿沼> わかりました。ありがとうございます。

<金> その他ご意見ご質問はありますか。

<相田> 渋江委員長ご苦労様です。審議対象資料一覧の8番の特別会員入会ご案内の件ですけど、下の方をみていただくとご入金が1月1日以降でお願いしますと書いてあるのですが、発行日が1月19日になっているので、事前に配布したほうがよろしいのではないかとと思うのですが、いかがでしょうか。

<渋江> 相田副委員長ありがとうございます。特別会員のご入会のご案内の説明をさせていただきたいのですが、こちら審議資料8番は新春例会当日に受付でお

渡しするもので、事前に案内状にこちらと同じものは同封させていただきま  
すので2回ご案内する形となっております。

<相田> わかりました。ありがとうございます。

<金> 事前に同封するものには、日付は1月19日ではないですね。

<渋江> はい。

<金> ありがとうございます。  
その他ご意見ご質問等いかがでしょうか。

<佐藤> お見送りをするというので、担当の方は決まっていますか。これだけの人  
数を動かすので誰か担当の方がいた方がいいのではないかと思います。

<渋江> 佐藤副委員長ありがとうございます。お見送りの件ですが、会が終わりまし  
たら会場内でお見送りをされる委員会の方、また、受付でお見送りをされる  
執行部の方、一応、添付資料の方に添付しておりますのでご参照していただ  
ければと思います。

<佐藤> 会場図をみているんですが、ばらけていたりこれをまとめる方がいないとい  
けないと思うので、誰かにお願いしてちゃんとまとまるような形にした方が  
いいと思います。

<渋江> ご指摘ありがとうございます。担当者を付けまして円滑にお見送りできるよ  
うにいたします。

<金> その他はいかがですか。

<福田弘> お疲れ様です。渉外委員会の先ほどのご指摘の答弁に関してですが、特別会  
員入会のご案内の先ほどの質問に対するご回答ですと、当日配布の資料とし  
て審議対象として上がっているとの事だったのですが、郵送される方の資料  
に関しては、書面会議の上程はないということでしょうか。

<渋江> 福田委員長ありがとうございます。郵送する方の特別会員のご案内に関しま  
してはこの後の審議案に付いています。

<福田弘> 渋江委員長ありがとうございます。別議案として上程ということでしたら問  
題ありません。私の意見としましては当日配布が確定しているのであれば、  
過ぎた期日の1月1日以降の振込みに関する項目は削除されてもよろしいの  
ではないかと思いました。

<金> ご意見としてありがとうございます。  
その他ご意見等いかがでしょうか。

<山田> 参考資料2015年度公益社団法人宇都宮青年会議所案内パンフレットのところですが、2点ありまして一番上のJCIマークが低い解像度で、実際印刷されるとデコボコというかギザギザが入っているようになってしまうと思いますので、解度を小さくされるか、または解度の高いJCIマークがあれば差し替えた方がいいと思います。それともう1点が2015年度例会スケジュールということで、4ページ目辺りだと思いますけど、これの2月市長例会のところ担当委員会の事も書いてくださってありがとうございます。その中の説明書きの部分で3行目に全国会員大会を招致する為にと書いてあるのですが、ここ数年前から会員が無くなって、全国大会という名称が正式名称となりましたので、会員というところを省いてくれればと思いますので宜しくお願いします。

<金> ありがとうございます。  
その他ご意見ご質問等ある方いらっしゃいますでしょうか。

<村上> 修正、検討をしていただきたい部分があります。2014年度の私の反省も含めての話であります。まず、議案の本文の中に2015年度公益社団法人宇都宮青年会議所という文言が多々あります。2015年度公益社団法人宇都宮青年会議所案内パンフレットで年度は頭に来ないです。審議対象の資料の中も結構いろいろ混ざってしまっていますので修正をしていただければと思います。パンフレットを新春で配るといのは大変よい事だと思います。私も引き継ぎでそんな話をさせてもらいましたが、できればここに所信も一緒に載せてほしいと思います。来ている人は理事長がどうゆう運動を宇都宮JCIとして推進していくか所信を読みたがっていますし、他のLOMも結構配っていました。今年5、6ヶ所行ったのですが所信は配るべきだなと思いました。それは検討してみてください。それから、パワーポイントの2番目に理事長挨拶がありますがこれは実際、所信表明なんです。なので、これの言葉も検討してほしいと思います。ちなみに順番もそうですが、今年、名古屋JCIの賀詞交換会に行きましたが、名古屋JCIでは開会をして、まず挨拶を理事長がしないんです。途中のクライマックスのところ理事長所信が出てきて、所信を演説するやり方をしていましたし、他のところだと理事長挨拶・所信表明みたいな書き方をしていたところもあります。それは設えだと思いますけれど、是非、所信というところを入れた方がいいと思います。今年、実はある人に怒られたんです。挨拶って言って20分ぐらい話したので、いっぱいの人を集めておきながら挨拶が長すぎるって怒られたんです。所信表明なのですみませんという話をしたのですが、やっぱり所信表明と入れておくと聞いている人も所信表明の演説だなと受けて取れると思うので、そこだけご検討いただければと思います。

<金> ありがとうございます。  
その他、ご意見ご質問等ございますでしょうか。

<須山> 渋谷委員長お疲れ様です。何点かありまして、何回か指摘しているのですが前年度からの引き継ぎ事項がなかなか直って来てないです。対応いたしますというのが多いです。どのように対応したというのがわかりづらいので、一

一つ一つ細かく書かれた方がよいと思います。今年度は不要と判断して実施しませんというのも出てきているので、それはそれで委員会で検討されてやらないということであればそれは問題はないですけれども、対応します、対応しますとの事なのですけれど、どのようにしたかという部分はもう少し細かくやられたほうがよいと思います。さらに依頼事項の部分もいろいろ書いていただきましたけれど、案内状を手持ちしご案内を予定していますというところですけど、この書き方だと漠然としてしまっていて、どの委員会が誰に持っていくのかももう少し考えていただければと思います。依頼事項でもう一つ、4番目のビジターを紹介していただき、積極的な交流をお願いいたします。というのが入っていますが、せっかくこれを書いたのであれば参考資料にあるシナリオにもどのような形で接していくのかという部分を近く連動させていただきたいと思います。せっかく新妻委員長が頑張られた部分を2015年度にどう活かしていくかをしっかり記載していただいて、なにをどう依頼して、どのように考えとかも連携させていくかという3点をお願いしたいと思います。

<金> 渋江委員長宜しく申し上げます。

#### 協-02 2015年度 1月新春例会告知計画並びに予算(案)について

<渋江> 前回からの変更点でございますが、まず案内状の文書の精査の方をさせていただきました。招待者リストの件なのですが、先日理事メールにおきまして最終案ということ確認させていただきました。皆様におかれましてはお忙しい中ご対応していただきまして本当にありがとうございます。その上で来賓のリストの精査を再度行いまして、招待理由の方もひとりひとり記載させていただきました。渉外委員会で来賓リスト、全ての方の名前、役職、送り先の住所、電話連絡等をしまして確認いたしました。この時点で最終確認なのですが、万が一誤字脱字等がございましたら、ご指摘いただければと思います。以上、慎重なるご協議申し上げます。

<金> ありがとうございます。  
新春の告知議案となります。今日の理事予定者会議が、実質2015年としては審議はないですけど、決定という形にさせていただきたいと思います。まず、来賓リストにつきまして、こちらは理事メーリング2014年度、2015年度の理事会構成メンバーの方々にご確認いただき、ご意見を集約させていただき渉外委員会の方に投げさせていただきました。皆様から貴重なご意見をいただいたということで、それを反映させていただいていると思います。ただ、もしその辺の漏れがあるようでしたら、この場を出していただきたいなと思います。最終最後の確認という意味でもう一度、ご一読願いたいと思います。まず、リスト以外のことはこの後に回そうと思いますので、リストに関してご意見ご質問等ある方いらっしゃいますでしょうか。

<中嶋> 渋江委員長お疲れ様です。役所、例会関連、JC関連をざっとみましましたけれど、合計で何人の方が来られるのか教えていただければと思います。

- < 洪江 > 中嶋副委員長ありがとうございます。細くなるのですが、来賓の方が303名の計画となっております。
- < 中嶋 > ありがとうございます。
- < 金 > リストに関していかかでしょうか。事前に確認いただいているので大丈夫と思うのですが、修正を依頼したのに修正されていないとかいかがでしょうか。確認をいただいているということでリストについてはご意見を閉めさせていただいて、リスト以外の部分で案内状等、その他の資料等の部分でご意見ご質問等ある方はいらっしゃいますでしょうか。
- < 八木 > リストの件になってしまいますが、来賓リスト例会関係のリストで、112番の中山会さんなのですが、法人格が確か今年度変わったということを赤羽委員から伺ってしまして、社会医療法人に変わったと聞いてますので確認をされてからお送りされた方がいいかと思えます。
- < 金 > ありがとうございます。審議対象資料でございます。確認を取っていただいてもし、誤記載であれば修正をしていただく、誤記載でなければそのまま、赤羽委員の方に確実に確認を取ってということで宜しく願いいたします。
- < 山田 > 審議資料の6番のシニア返信FAXとビジター返信FAXの返信FAX番号が正しくは9883なので訂正をお願いします。
- < 金 > 間違いなければ変更をお願いします。  
その他ございますでしょうか。  
なきようですので理事長コメントをお願いします。
- < 須山 > 先ほどの中山会に関しましては、専務に最終の確認をお願いしますので専務決済で決めていただければと思います。よろしくをお願いします。

#### 協-03 PR映像制作計画並びに予算（案）について

- < 篠原 > お疲れ様でございます。広報戦略委員会の篠原でございます。PR映像制作計画並びに予算（案）について上程をさせていただきます。第1クールなので皆様で宜しくをお願いします。初めての上程なのでお聞き苦しい点があると思いますがよろしくをお願いします。まずは、事業要項なのですが、事業実施に至る背景。宇都宮JCでさまざまな運動、事業を行っております。一人でも多くの市民の方々に宇都宮JCを力強く波及させる運動していく必要があるということです。続きまして事業対象者は県内、市内の諸団体、宇都宮JCシニアクラブ、来訪JC様、対内対象としては宇都宮JC、ビジターとなっております。事業目的、対外につきましては2015年度宇都宮JCの運動を来賓の方々、シニアクラブ、諸先輩の方々により明確に周知する。事業目的、対内は2015年度宇都宮JCの運動を意識昂揚を図ることを目的とする。事業内容は皆様ご一読ください。続きまして、審議対象資料一覧の4番のP

R作成コンセプトなのですが、参考資料なので訂正いたします。3番の絵コンテをご覧ください。ご覧いただいていると思いますが、コンセプトがございまして2015年度のスローガン『真摯に挑戦』。いろんなところで見るかもしれませんが、真摯に挑戦という文字を習字の筆文字で書き出しています。そこをイメージしてまして、このPR映像には力強さ。全体的に和をイメージして音楽も和太鼓とかも取り入れて、抑揚をつけて全体的なバランスを考えております。わんぱくとか宮まつりの動画も入っております、そこで勢いをつけたりとかもあります。最後の方に第1回理事予定者会議の映像を折り込みさせていただいたのですが、宇都宮JCは事業や例会だけでなく、それをやるにあたって、しっかり会議を踏まえた上で行っているというのを来賓の方々みんなにわかっていただきたく、映像を折り込みました。最後は勢いに任せて、そのままメンバーが出てきて真摯に挑戦にぶつかって、終わりという尻上がりの勢いを出したく、こういうイメージにさせていただきました。最後は須山次年度のお話に出ていた拡大について『集え』を出す。ここまでの勢いでいかしてもらいます。慎重なるご協議お願いします。

<金> PR映像の件、なかなか絵コンテだけですとわかりにくいと思いますが、制作をしてしまうとお金がかかってしまいますので、絵コンテでイメージを沸かしていただきたいと思います。初めての上程ですので、全般的にご意見等ある理事の方よろしくお願いします。

<木村> 篠原委員長お疲れ様です。2点あるのですが、本年度の工夫と効果なのですが、こちらが同じことをいっていたりとか、これが本当に効果なのかというところがあります。絵コンテの方はしっかりできていると思うので、もう少し工夫してどういう効果が出るのかというところを委員会で揉んでいただけるといいのではと思います。2個目が絵コンテに反映されているのかなと思うのですが、気づいたところがカットの14と27です。こちらもせっかくなので、まちづくりサミットと伊達な子どもフェスティバルの受付のところを出していても見ている人はわかりづらいと思います。対内の人はわかると思いますけど。映像で18、19カットのところでも村上理事長と新入会員の方だと思うのですが、これを連続で2枚載せてもしょうがないと思うので、もっと工夫して、新入会員が入るといっているのを訴えていると思うのですが、理事長と最後握手するところのいいのかなと思います。ずっと固くなってしまうので。続いてカットの22、23、24でずっと福寿園が続いているので、今年度はせっかく加賀屋とかも呼んでいると思いますので、多分これを見た人が、より明確に宇都宮JCがどういうことをやっているのかということ、来賓の方々にわかってもらうためにと思いますので、もうちょっとそういったものを載せて、逆にそういったものを見たときに福寿園の人が来て講演していたのだと、JCってそういうことをしているんだ、じゃ来年そういう事やる時に声をかけてくださいっていう方もいると思います。そういったものをわかりやすく載せた方がいいのかなと、ちょっと目的と工夫がこういうところに反映されているのかなと思うので、委員会で精査していいものを作ってください。全体的にはよいと思います。

<篠原> 木村委員長ありがとうございます。委員会に持ち帰り精査していきます。

- <相田> 篠原委員長ご苦労様です。絵コンテを見ていて気になった点があるのですが、18、19辺りなのですが、7月とか3月が交互になっていたりしているのですが、こういうのは時間軸的に均していった方が見やすいのではないかと思います。そこら辺を工夫してみてもどうかと思いました。全体的に並びがバラバラになっているようにも思えたので、もう少し見やすいようにできるのではと思いました。お願いします。
- <篠原> それもわかるのですが、わざと拡大ってものを繋げたかったという流れです。もし認証式の18番が17番に入って、17、18が逆だとするとちょっと。最初は時間軸で合わせていたのですが、それをやっていると映像のバランスがグチャグチャになってしまったのでこれにしました。ですが、委員会の方に持ち帰らせてもらいます。
- <金> ありがとうございます。  
その他、ご意見ご質問はいかがでしょうか。
- <佐藤> わんぱく相撲の部分だけをモノクロにする効果はなんですか。
- <篠原> 出だしの勢いでわんぱく相撲の動画からいきかかったんです。動画から入るにあたって、どうしてもコンプライアンスが引っかかってしまうんです。その時ボカして写すのが嫌だったんです。なので、白黒で雰囲気を出しながらこの映像に繋がりました。
- <佐藤> 法令会計に聞きたいのですが、白黒だったら大丈夫なのでしょうか。
- <豊崎> こちらの方はまだ絵コンテの状態で、私どももまだ映像の方は確認していません。昨日、法令会計審査の方をさせていただきまして、来月の法令会計審査の方にこの部分だけの映像を提出してもらい、そちらの方を確認させていただいてコンプラ的に問題がなければ、その映像を使用してもらおうようにいたします。
- <佐藤> ありがとうございます。
- <金> コンプライアンスにかかりそうそうなものはすべて審査されるということでしょうか。
- <豊崎> はい。大丈夫でございます。
- <金> ありがとうございます。  
その他いらっしゃいますでしょうか。
- <小瀧> この絵コンテだけだと全く想像できないのですが、音源だけでも次に流すことはできますか。

- <篠原> ご用意させていただきます。
- <金> どのタイミングになりますか。
- <篠原> 次回の理事会までには何かしらの形でご提示します。
- <小瀧> 音源流していただければ皆がそこに合わせてイメージをしていきますのでお願いします。
- <金> その他いかがでしょうか。
- <村上> 少し意見が出た部分で重なるところもあるのですが、誰が見るのかなんです。僕らは目的を知っているわけです。この写真を見ると全部3秒とか2秒です。3秒が映像だとしても、これを流してこの目的、何のためにやっているのかが見ている人に伝わるのかという話です。いっぱい盛り込みたいのはもちろんわかります。だけど、もしかしたら欲張りすぎているのかもしれない。なので、全国大会の例を出しても何をやっているのだろう、僕らはわかっていますけど。宮まつりを見せてもただ、まつりやっているんだってしか見えなと思います。その辺をしっかりと工夫してください。
- <金> ありがとうございます。
- <篠原> 委員会に持ち帰らせていただきます。
- <金> その他いかがでしょうか。
- <中嶋> 篠原委員長お疲れ様です。絵コンテの中なのですが、全国大会とかASPA Cとか入っていると思うんですけど、実際、出向者とかが活躍している場があると思います。もうちょっと人が活躍しているところがよいと思います。ASPA Cもコンサーレの写真ではなくて、実際の山形の写真とかを入れた方がもっとよくなるのではと思います。
- <金> ご意見ありがとうございます。  
絵コンテにつきまして、十人十色の感覚があるのでさまざまな意見があって然りだと思えます、イメージが湧かないとか聞きたいこともたくさんあると思います。まだ1クール目ですので、是非、篠原委員長、委員会のメンバーに理事会以外の部分で確認を取っていただくこととか、委員会として広く、いろんな意見を吸い上げてもらうことを行って行って、次回のクールに向けてよりよいものが作っていければと思います。ご意見も多数あるかと思いますが、きりが無くなってしまいますので、絵コンテにつきましてはこの辺で閉めさせていただいて、他の部分でご意見ご質問等ございますでしょうか。なきようですので、理事長コメントをお願いします。
- <須山> 絵コンテなのでなかなか伝わりづらい部分ありますが、イメージ悪くしてしまうと申しわけないですが、今までの事業、例会と2015年度所信

が微妙にずれているのもあるので、だいたい近いものを選んでもらっているとは思いますがもう少し精査していただくのと、まるっきりこれは未来に向けてやることです。同じものを捨てるのは到底無理だと思いますので、近そうだなというものをもう少し探してもらえればと思います。あとは、全体が座っているような写真とかは違うのに差し替えた方がいいかと思います。たとえば、木村委員長もいっていましたが、宇都宮市民のためのビジネスセミナー、福寿園の福井会頭が来ています。加賀屋さんも呼んだわけですが、その名前を見せればわかりやすくなると思います。歴代会頭が来たという形でパッと見てわかるようにしてあげたほうが丁寧かと思います。あとは全体的に写真の部分を見て、先ほど村上理事長もいっていましたが、全然知らない人はあまり来ないけれど、宇都宮JCの事業はどういうことをやっているのかというのが伝わる、入会したてのメンバーとかにみせてどうかという部分もありますので、もう少し掘り下げて頑張ってください。

<金> ありがとうございます。

#### 協-04 第112回通常総会 開催計画並びに予算(案)について

<辻> 皆様お疲れ様です。総務委員会委員長の辻と申します。第112回通常総会開催計画並びに予算(案)について協議、上程させていただきます。初協議クールとなっておりますので、ご説明させていただきます。事業実施に至る背景ですが、宇都宮JCの最高意思決定機関である総会を、定款第3章第17条第1項に基づきまして実施いたします。事業対象者は宇都宮JC全メンバーとなります。事業目的ですが定款21条に基づきまして2014年度事業計画(案)承認の件、2014年度収支決算報告(案)承認の件、2014年度監査報告、2015年度修正収支予算(案)承認の件について決議することを目的といたします。実施日時ですが2015年1月29日木曜日コンセール大ホールにて受付開始が18時30分、開会が19時、閉会が20時とさせていただきます。10番項の事業内容の部分ですが、委任状回収および出席率の向上についてですが、総会でメンバーの総意をえるために委任状の提出が必要となっております。出席、欠席問わず委任状の提出を促進するために、委任状100%回収リストを作りまして計画的に委任状の提出を呼びかけていきたいと思っております。また、委任状の書き方で無効となる事例があります。審議対象資料に委任状の記載例、また参考資料の方に委任状記入不備事例というものを添付させていただいております。ここ近年委任状の不備が幾つかあるということなので、不備事例を一読していただきましてメンバーへのご指導お願いしたいと思います。続きまして、出席率の向上を図るために第109回、110回の総会に欠席をされている方がいらっしゃいます。ここでは名前は控えさせていただきますが、19名で全体の14%いらっしゃいます。両日欠席の方には委任状送付後に早い段階でアプローチの方をさせていただきたいと思っております。その時、局長、各委員長の皆様にはご協力いただきたいと思います。また、総務委員会にて今年度の総務委員長を招きまして総会についてのご講義をいただいて総務委員会のメンバーの意識を上げて、各委員会の方にお邪魔させていただきまして総会の案内をさせていただきたいと考えております。最後に依頼事項ですが理事メンバーより委任状の書き方、提出、総会の出席の

呼びかけを是非ともよろしく願いいたします。以上、慎重なるご協議をよろしく願いします。

- <金> 辻委員長ありがとうございます。総会の議案でございます。総会に出席したことない人はここにはいらっしやらないと思われませんが、今回の総会におきましても委員会の方でさまざまな工夫を凝らしたものとなっております。初めての上程となっておりますので、全般的にご意見ご質問等ある方は右手挙手にてよろしく願いします。
- <木村> 質問なのですが、109回、110回を欠席しているメンバー19名の名前を控えるというのは何ででしょうか。
- <辻> 木村委員長ありがとうございます。欠席されている方の予定等、わざと休みたくて休んでいるという方でもない可能性もありますし、何か都合があって来れない方もいらっしやいますので、この場で名前を出してその方に失礼にあたらないようにしたいと思ひまして名前を控えさせていただいております。
- <木村> ありがとうございます。今の話ですと来られない人を吊るし上げる前提の話になっていると思うのですが、そもそもこの議案は人をどれだけ集められるかで、この19名を出していると思うのですが、別に仕事とかでどうしても外せない用事、冠婚葬祭などで来られないメンバーも多々いたかもしれません。ただ別にそういう理由であれば吊るし上げているものではないと思ひます。今年度でいうと私の委員会、海外組の松井君、藤井君がやっぱりなかなかこっちにいないので、集まりづらい、出席しづらいというところがあったと思ひますけど、ちょうど1月で年度の変わり目なので、藤井君と松井君に今のうちから年内のスケジュール、こっちに帰ってくるスケジュールを送ってくれと言ったのですが、多分次年度になるとそういうメンバーを受け持ってる委員長がしっかりやっていかないといけないので、そういったところもあり、こういった理由で取りづらいというのを発信してあげる、わかるというのが、理事会の場なので必要なかと思ひます。で、スムーズに委任状ですとか出席率を上げるポイントになってくると思ひますので、確実にいないメンバー、いづらいメンバーはいると思ひますので、そういったところを工夫して出すとわかりやすいと思ひます。
- <辻> 木村委員長ありがとうございます。一度委員会の方で検討させていただきまして後日回答させていただきたいと思ひます。
- <金> その他いかがでしょうか。  
菊地副委員長いかがでしょうか。
- <菊池> 特段ございません。
- <金> その他いかがでしょうか。
- <村上> 私からは1点、案内についてあまりにも酷いです。メンバーに対して理事

長名で出していて、須山理事長がこんな文章書かないはずですが。これは日時と拝啓書いてあるだけなので、こんな文章では普通送らないです。自分の会社で何周年とかやる時こんな文面使って出さないだろうから、そういった意味でもしっかり理事長の言葉で書いてるような感じの案内文にしてあげてください。

<辻> ありがとうございます。修正をさせていただきます。

<金> その他いかがでしょうか。  
亀井副委員長いかがでしょうか。

<亀井> 特段ございません。

<金> その他よろしいでしょうか。  
なきようですので理事長コメントをお願いします。

<須山> 辻委員長お疲れ様です。皆さんに伝えたいところですが、前年度からの引き継ぎ事項をこんな感じに書いていただけるとわかりやすいので、是非参考にしてください。皆さんもこれから議案を書いていくと思いますが、どのように対応していかというのわかるように記載をしていただければと思います。そして辻委員長に聞きたいのが、委任状を回収することが目的となってしまうと思うのですが、この総会に来させる試みというのはありますでしょうか。総務委員会として、この総会に皆さん来てもらうかという部分を、辻委員長の頭の中にどのような仕掛け、考えがあるのかということです。

<辻> メンバーの方に呼びかけるということで、電話で事前に連絡するという、メールにて呼びかけるということを考えています。その中でメールとかで工夫出来たらいいとは考えております。

<須山> 答えはないと思っていますし、総会に毎年、総務委員会の委員長さんは苦労するんです。どうやったら来てもらえるのだろうかという事で、いろいろ試行錯誤すると思います。歴代総務委員長という事で飯沼事務局長が講義をするという話になっていますが、やはり委任状を回収するのが目的じゃなくて、来てもらって最高意思決定機関に同席をしてもらって審議をとる。そこが一番だと思いますので、来てもらわなければ意味がないことです。今の辻委員長の答弁ですと、まだちょっと熟慮が足りないと思いますので、どこをどうしたら皆さんが来るのか、電話だったり、メールだったりも一つだと思いますし方法だと思いますけれど、今までですと委員会周りをしてみたり、これも一定の効果はあるのでしょうか、他にももっとあるんじゃないのかというのがいいわけです。19名の前回休まれた方をどのように来させるのか、それを深く考えていくのもひとつですし、もっとももっといろいろ知恵を出していただきたいと思います。応援しています。

<金> 辻委員長よろしくをお願いします。

協-05 2015年度県提出事業計画書(案)変更について  
2015年度総会例会(案)の変更について  
2015年度収支予算計画(案)の変更について

<金> 続きまして協議事項5番、6番、7番。先ほど豊崎局長からありました、2015年度県提出事業計画書(案)変更について、2015年度総会例会(案)の変更について、2015年度収支予算計画(案)の変更について。関連する議案ですので一括にてご上程お願いしたいと思います。豊崎局長宜しくお願いします。

<豊崎> 資料を元に、協議事項6番、7番、8番の変更点が説明された。

<金> ありがとうございます。皆様お手元の紙資料をご参照いただきたいと思います。本来ならば常任理事会を経ての事となるのですが、県の方からそのような御達示があって今回の理事会で、また当日の配布資料ということで、配布となった旨をご了承いただきたいと思います。まずは県提出事業計画につきましてご意見ご質問等ある方いらっしゃいますでしょうか。私の方から補足をさせていただきます。県の方から事業計画につきましては、ここに様々なことがかいてあります。全国大会について、これを見ると対話集会を確実にやるということで書かれています。もちろんその方向に向かっているのは事実でございますが、何かしらの理由で全国大会について対話集会ができなくなるという事もあるかもしれません。そういった場合は事業内容については変更する事は可能であると日程等も含めて確認も取っておりますので、そのような場合も変更が可能という事をお伝えしておきます。その他いかがでしょうか。続きまして、総会例会担当の部分、項の01のところの変更となっております。これは記載を変えているだけなのでよろしいかなと思います。続きまして、予算の方です。こちら3ページ目の項の01、4ページ目の432、000円を3つのグループにわけていたのを、未来創造グループが公益事業となるということで、そちらにもグループ活動費を割り振るという事で、324、000円を4つのグループに分けたということですね。合計金額は変わらないという状況であります。こちら記載の振りわけを変えたという状況であります。予算につきましていかがでしょうか。ご意見ご質問いかがでしょうか。なきようですので理事長コメントをお願いします。

<須山> 特段ございません。

<金> 以上で協議事項を締めさせていただきます。

#### 14. 報告依頼事項

<金> 報告の1番、2番はスケジュールですので確認をお願いいたします。報告の3番は対外出向者につきましてこちらも現在決まっているものを添付させていただいております。追加等もある場合がございますので、現段階と

ということで確認をしていただければと思います。報告事項4番、拡大ポスターはこちらも案の状態ではありますが、拡大につながるツールとして活用していただきたいと思いますので、まだ、案の段階ですので順次更新次第、皆様にもお伝えしていきたいと思います。報告事項5番、6番につきましてはブロック、または関東地区の組織図も出ましたので、こちらも皆様にお伝えさせていただきたいと思います。報告事項7番は全国大会承知理念につきましては、このあと、理事会終了後に全国大会招致会議がございますので、その場でご説明があるかと思っておりますので、省かせていただきます。報告依頼事項のその他をお持ちのかたはいらっしゃいますでしょうか。

<木村> ちょっと戻ってしまうのですが、報告の3番の対外出向者の件で、これはどう決めていくのか、順序がわかりません。次年度の宮まつりの押田君が入っているのですが、私はまったく知らない状態で入っているの、各委員会の委員長はとおさないのか、どういうルールでいくのか、まったくわからないまま、これみて対外出向者に入っているのでは僕も腑に落ちない部分がありますのでご説明お願いいたします。

<金> 私の方から説明させていただきます。各会員、副理事長、常任理事、委員長に確認を取った上で声かけをさせていただいて、本人の意思の元、出向者として名前を連ねさせていただいているはずでございます。ただ今、木村委員長がおっしゃいました、委員長にまったく話がいてないということですのでよろしいですか。それでしたら、その辺修正いたしますので再度、話をして副理事長、常任理事、委員長を通して本人に確認を取っていききたいと思いますので、今後やっていきたいと思っております。もしかして情報の漏れ、説明の漏れはあったかもしれません。その辺はお詫びを申し上げます。基本的にそういう形でいっております。もし他にもそういった、まったく知らないうちに声がかかっているとか、名前が載っているとかありましたら、私の方まで挙げていただければと思いますので宜しく願い申し上げます。その他報告事項はございますでしょうか。なきようですので報告事項をしめさせていただきますと思います。

## 15. 監事講評

<黒川>

まずは総務、渉外委員会の皆様本日の設営本当にお疲れ様でございます。それにしても、今ちょっと揃い始めましたけれども、理事長、直前からお話ありましたが、遅参が多すぎると思っています。上程がないから遅刻してもいいやとか、欠席してもいいやとか、そういう考えかどうかわかりませんが、やっぱりJCの理事、役員でございますので、そんな事がないように自覚を持っていただきたいと思っております。そして意見の出し方も、あまりいいくないのですが、この理事会というものもルールがございますので、指名されたらありがたいかと、上程者に対してお疲れ様でございますとか、思いやりを持ちながら理事会を望んでいただきたいと思っております。そして本日上程されている、委員長の皆さん、本当にお疲れ様でございます。この予定者、これから来月、再来月と上程に入る委員長の方もいると思っておりますけれど、この予定者がどれだけ大事か、この予定者でどれだけいい準備ができたか、それによって2015年度がいいスタートをきれるかどうかになってくると思っておりますので、

しっかりこの予定者1ヶ月半ありますので、いい準備をしていただきたいと思います。そして最後になりますが、仕事もそうですけど、このJCも身体が資本でございます。私も11月に入り、初めて、約2週間ほどJCを休みました。体調を崩して休みました。やはりこの予定者、本年度と重なり忙しいとは思いますが、休めるときはしっかり休んでいただき、身体をご慈愛いただき、そんなことをお願いして私の監事の講評と代えさせていただきます。本日の理事会お疲れ様でございました。

<金> 黒川監事ありがとうございます。

16. 閉会宣言

<金>

公益社団法人宇都宮青年会議所  
2015年度 第3回 理事予定者会議議事録

議長：( 専務理事 ) 金 克彦

議事録作成人：総務委員会

議事録署名人：須 山 裕 之  
黒 川 崇